

障がい学生のための学習の手引き

はじめに

このたびは本学の通信教育部へのご入学をご検討いただき、誠にありがとうございます。

日本福祉大学には、障がいのある学生が多く在籍しておりますが、通信教育部においても、70名ほどの学生が在籍しています。働きながら学習している方や、重度障害で通学が困難な方など、通信教育の特性を活かして、大学卒業や資格取得を目指して学習を進めています。

これからご入学を検討するにあたり、在宅学習、パソコン操作、スクリーニングの受講などの様々な場面で、どのように学習を進めるのかを考えた上で、卒業や資格取得など、目的にかなった教育を受けることができるかどうか、事前に条件をよく確認していただく存じます。

障がいのある方には出願前に、入学後の支援について確認し、事前に共通認識を持つことを目的として「身体等障がい状況票」のご提出をお願いしております。

出願手続要項にも記載してあるとおり、本学では、介助者のあっせんを行っておりませんので、介助が必要な場合には、学生の皆さんにご自分で介助者を確保していただくようお願いしております。不安なこと、わからないことがありましたら、なんでもご質問いただき、ご理解いただいた上でご入学手続きを取っていただければ幸いです。

障がいのある学生の在籍状況（2009年5月1日）

	視覚障がい	聴覚・言語障がい	肢体障がい	内部疾患他	合計
通学制	13	47	59	26	145
通信制	14	10	42	7	73
大学院	2	0	4	0	6
合計	29	57	105	33	224

目次

- 1 入学までの手続きの流れ
- 2 通信教育部の学習方法
- 3 学習にあたっての大学の支援と対応できないこと
- 4 入学後の手続きの流れ
- 5 障がいのある学生の学習の実施例

1 入学までの手続きの流れ

身体等障がい状況票のご提出をいただいた場合の、学習開始までの流れは以下のとおりです。入学後については、P7をご参照ください。

①「身体等障がい状況票」と「障がいの状況が確認できる資料※」の提出

提出方法 メールまたは郵送でご提出ください。

「障がいの状況が確認できる資料」をメールに添付することができない場合は、別途郵送またはFAXでお送りください。

提出先 メールの場合 Email:tsqa@ml.n-fukushi.ac.jp

郵送の場合 〒470-3295 愛知県知多郡美浜町奥田
日本福祉大学通信教育部事務室 宛

FAXの場合 0569-87-2308

※障がいの状況が確認できる資料
身体障害者手帳の写し
精神障害者手帳の写し
愛護手帳等の写し
医師の診断書等

↓

②入学後の支援内容の確認連絡

通信教育部事務室からメールまたは郵送で、入学後の支援内容の確認と、ご質問いただいた事項に対する回答などをご連絡いたします。

内容をご確認いただいた上で、出願をするかどうかご判断いただきますようお願いします。さらに質問があればお気軽にご連絡ください。

↓

③ 出願 (出願要項のP12参照)

↓

④ 入学金等の納入

↓

⑤ 履修登録

↓

⑥ 教材等の受け取り

↓

⑦ 学習開始

2 日本福祉大学通信教育部の学習方法

本通信教育部の学習方法は、以下のとおりとなっております。

テキスト科目	テキスト教材を使った在宅学習
テキスト・オンデマンド併修科目	テキスト教材とインターネット配信授業を併用した在宅学習
オンデマンド科目	インターネット配信授業を受講する在宅学習
スクーリング科目	各地会場へ出向いての対面式授業

★「テキスト科目」「テキスト・オンデマンド併修科目」について

テキスト科目、テキスト・オンデマンド科目の学習では『テキスト・インターネット上でのパソコン学習→添削課題→科目修了試験』の順に進めていただくこととなります。添削課題や科目修了試験は、インターネット上で行い、選択回答方式となっております。

科目修了試験には、回答時間に制限があり、時間延長ができません。

★「オンデマンド科目」について

オンデマンド科目の学習では、インターネット上でテキストや画像、動画で構成された授業を受講します。配信される映像のほとんどに字幕が出るようになっております。

『インターネット上でのパソコン学習→質疑応答・確認テスト→科目修了試験』の順に進めていただくこととなります。

ただし、一部のオンデマンド科目では、視覚障がい者むけパソコン読み上げソフトに対応していない場合があります。

★スクーリング科目について

スクーリング科目は、2日間で15講（22.5時間）の講義を受けていただきます。

最終講で科目修了試験としてレポート課題が出されます。会場でレポートを作成・提出していただき、成績は後日通知されます。

☆自宅学習でもスクーリング単位が修得可能☆

1 年次入学の場合、卒業までにスクーリング単位を30単位修得していただく必要があります。

スクーリング科目の受講は、講義の長さや、会場までお越しいただくこと等、自宅学習に比べ負担が大きくなります。オンデマンド科目、テキスト・オンデマンド併修科目では、下記のとおりスクーリング単位として認定されますので、履修登録を行う際にご検討ください。

- ・オンデマンド科目→修得単位のすべてをスクーリング単位として認定
- ・テキスト・オンデマンド併修科目→修得単位の半分をスクーリング単位として認定

3 大学の支援と対応できないこと

①テキスト科目／テキスト・オンデマンド併修科目

項目	内容	対象となる障がい
テキスト教材の電子媒体での文字部分の提供	市販テキストを除くテキスト科目の教材について、テキストデータ又はWordのデータでお渡しすることが可能です。	視覚障がい、肢体障がい等

(支援できないこと)

- ・インターネット上で実践する科目修了試験時における時間延長

②スクーリング科目

項目	内容	対象となる障がい
1 優先席の確保	例：・手話通訳者を配置するための専用席、パソコンを利用するため電源が届く席、車いすで座れる席、聴覚障がいがあり講師の読唇可能な席	視覚障がい、肢体障がい、内部障がい等
2 配付資料のデータの提供	パソコンによる読み上げなどのために配付資料のデータが必要な場合は、可能な限り事前にデータ提供します。データ形式は、PDF ファイルで送信します。ただし、教材によっては当日配付になる場合もあります。	視覚障がい、肢体障がい等
3 ルーペ等の拡大器の使用	通常の文字の大きさと読むことができない場合に、ルーペ等の拡大器の利用をすることができます。機器の貸し出しは行っておりませんので、各自ご用意ください。	視覚障がい
4 受講時および科目修了試験におけるパソコン・ワープロ使用	受講中のノート作成、レジユメの読み上げ、試験問題読み上げ、解答作成などにパソコン・ワープロを使用することができます。 パソコン等の機器は各自でご用意ください。	視覚障がい、肢体障がい等

項目	内容	対象となる障がい
5 電源の確保	パソコン・ワープロ等を利用するために電源の確保が必要な場合、優先席までの延長コードを設置します。会場により異なりますので、そのつど確認をしています。	全般
6 科目修了試験における問題用紙の拡大	通常の文字の大きさでは読めない場合や、筆記に障がいがあり小さい文字を書くことが困難な場合に、問題用紙を拡大します。	視覚障がい、肢体障がい等
7 科目修了試験における時間延長等の配慮	問題文の読み取りや解答作成に時間を要する場合、通常の時間の1.5倍をめやすに時間延長ができます。	視覚障がい、肢体障がい等
8 自家用自動車による通学の許可	自家用車による通学が必要な方が、駐車場の確保が必要な会場で受講する場合は、あらかじめご連絡いただければ駐車場を確保します。ただし、駐車料金が必要な場合はご本人負担です。 また、スクーリングの会場によっては対応できない場合があります。	全般
9 学習支援者による学習支援の許可	手話通訳・ノートテイク・パソコンテイク・板書読み上げ、筆記の補助などが必要な場合に、あらかじめ届け出をいただければ、学習支援者の付き添いを許可し、席の確保を支援します。	全般
10 学習支援者への配付資料の提供	手話通訳者などの学習支援者からあらかじめ配付資料の提供希望があった場合は、事前に送付します。	聴覚障がい等

(支援できないこと)

- ・手話通訳、ノートテイクや生活介助のサポート
- ・配付資料およびテキスト教材、学習ガイドの点字化、文字拡大及びCD化

4 入学後の手続きの流れ

<テキスト教材の電子媒体での文字部分の提供>

① 履修登録手続き



② テキスト教材のデータ提供が必要な科目名を、メールで本事務室へご連絡ください。

連絡先 tsgaku@ml.n-fukushi.ac.jp



③ 事務室から「オリジナル・学習指導書教材テキストデータ使用申請書・誓約書」を送付します。必要項目を記入後、ご提出ください。※



④ データの提供（メールまたはCD-ROMを郵送）

※提供させていただいたデータは、受講生本人の学習のために使用するものであり、それ以外の目的での使用は禁止します。

<スクーリング>

① 履修登録手続き



② 受講支援者が必要な場合は、各自手配をお願いします



③ 受講 1 か月前 通信教育部事務室から重要事項連絡、当日のサポート内容の確認、会場情報の提供等をホームページ上の重要通知で連絡します。提出が必要な書類がある場合は、通知内容の指示に従ってください。



④ 返信 ※

- ・受講をキャンセルされる場合はホームページ上で履修登録を取消してください。
- ・学習支援者が同席される場合は、指定の様式にてお知らせください。
- ・入学時に希望されていない支援内容でも、大学でサポートできる場合もありますので、お困りのことがあれば合わせてご連絡ください。

連絡先 : tsgaku@ml.n-fukushi.ac.jp



⑤ 受講当日

※受講 1 か月前の重要事項連絡に対して確認のメールをご返信いただけなかった場合は、必要な支援を準備できない場合があります。必ずホームページ上で確認し、メールにて確認のご連絡をいただきますようお願いします。

5 学習の実施例

<重度肢体障がいの学生>

- 障がいの状況
- ・実家の近くにひとり暮らし。午前中は実家の母、午後はヘルパーに来てもらって介護を受けている。
 - ・ベッド上または車椅子でパソコン操作をするが、疲れてしまうので1日2時間程度が限界。
 - ・装具をつければ自筆できるが長文やマークシートは困難。

大学生活の工夫

・履修登録

最初はたくさん登録したけれど、1年目は時間が足りなくて学習できませんでした。2年目からは8年かけて卒業することを目標に、履修登録をする科目を減らして無理のない学習計画に変更しました。

・インターネットの科目修了試験

インターネットの科目修了試験は時間制限があり、はじめのうちは時間内に解答できないこともありましたが、2回まで試験を受けられるので何とか解答できました。家族がいるときは、パソコン操作を手伝ってもらいました。

・テキスト教材の電子媒体による文字部分の提供希望

教科書のページを自分でめくることができないので、教材をテキストデータで送ってもらって、パソコンで見るようにしています。

・スクーリング

体力的に不安があり、できるだけ家で学習したいと思っていたので、スクーリング単位はできるだけオンデマンドで修得しています。家から通える地域で行われるスクーリングで、家族の都合がつくことがあれば履修したいと思っています。

<視覚障がいの学生>

- 障がいの状況
- 文字は20ポイントぐらいまで拡大すれば見ることができる。
パソコンは文字拡大をしてみている。
自筆は可能だが、拡大鏡を使わないと細かい字は書けない。

大学生活の工夫

- ・オンデマンド科目は、ひととおり講義を聞き、資料を別途ダウンロードして、別の時間で拡大してみるようにしています。
グラフや図などで分かりにくいところは家族や友人に聞いたり、大学にメールして解説してもらったりしています。
- ・長文を読むのには時間がかかりますし、目もつかれるので、途中で音声読み上げソフトを購入し、資料をパソコンで読み上げて音声で聞くようにしました。
- ・スクーリング
配付資料のデータを事前にいただいて、パソコン画面で拡大しながら受講しました。メモもパソコンでとりました。
パソコンの電源が使える席を用意してもらいました。
科目修了試験もパソコンで受験しました。操作に時間がかかるので、1.5倍の時間延長を依頼しました。

<聴覚障がいの学生>

障がいの状況 感音性難聴で講師の声はほとんど聞こえない。
日常生活は手話、読唇、筆談などでコミュニケーションをとっている。

大学生活の工夫

- ・オンデマンド科目は字幕が付いているので大丈夫
- ・スクーリングは手話通訳者の派遣を地域の聴覚障がい者協会に依頼しました。
スクーリングの時間が長かったので、複数の通訳者に交代でお願いしました。

日本福祉大学 通信教育部事務室
T E L:0569-87-2932
F A X:0569-87-2308
Email:tsqa@ml.n-fukushi.ac.jp
U R L:http://www.nfu.ne.jp/